

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」岡山高島校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|----|-----|-----------------------|----------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | | パーテンションで調整できるようにしている。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 5 | | 理想的な配置である | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 3 | 2 | | 駐車場から階段がある。玄関に段差がある。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 5 | | 毎朝清掃・消毒を行っている。 | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 5 | | | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | | なるべく回収できるよう時期を見て line、ブログで促している。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | | 毎年実施できている |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 5 | | | 職員ミーティングで改善点の話し合いを行っている。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | | 毎月実施している。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 5 | | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | 遠城寺・NCプログラムを使用している。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4 | 1 | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|--|----------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 5 | | | 時折見直しを行う。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | 1 | | 迷ったときは相談している |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | | 児童の状態に合わせて行っている |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | 4 | 1 | | 個別療育のみ提供している |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | 1 | | 朝礼時に周知 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 1 | | 朝礼とミーティングを同時に行い共有できる時間を作る。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | | 定期的に記録のチェックをしている。 |
| | ⑳ | 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | | |
| | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | | 基本的に管理者と担当指導員で参加している。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 1 | | 現状行えていないが対象児童がいれば行いたい |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 1 | 4 | | 現状対象児がない |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 1 | 4 | | 現状対象児がない |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | | | 希望者のみになっているため行っていきたい。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | | | 希望者のみとなっているため行っていきたい。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 1 | | 日頃から連絡を取り合うよう心掛けている。 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 1 | 4 | | 現状行えていないが必要があれば行いたい。 |

| | | | | | | |
|------------|---------|--|---|---|-----------------------------|-------------------------------------|
| | ⑳ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 2 | 3 | 管理者が参加している | |
| | ㉑ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | フィードバック時や支援中に行っている。 | |
| | ㉒ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 2 | 3 | | 全ての保護者ではないが家庭で出来ることをお伝えしている。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉓ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | 契約時に説明 | 掲示しているが分かりやすくしたい |
| | ㉔ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 4 | 1 | 毎回更新時に直接説明をしている。 | |
| | ㉕ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | 支援時やフィードバック時に実施。 | |
| | ㉖ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 5 | | 現状必要ない。 |
| | ㉗ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | | 対応できる相談であれば対応するが難しい場合は管理者が対応している。 |
| | ㉘ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | | 行事を行うことはないが、研修や防災訓練記録は分かりやすく掲示している。 |
| | ㉙ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 5 | | 基本的に鍵付き書庫にて管理 | |
| | ㉚ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | | 相手の立場に立って対応できるよう職員間で情報共有を行っている。 |
| | ㉛ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 5 | | 現状必要ない |
| | 非常時等の対応 | ㉜ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 5 | | 毎月1回実施し事業所内へ掲示している。 |
| ㉝ | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | 毎月様々な事態を想定し実施。非常時の食料も備えている。 | |
| ㉞ | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 5 | | | 現状対象者はいないが面談時に確認している。 |
| ㉟ | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 1 | 5 | | 食事の提供は行っていないが面談時に確認している。 |

| | | | | | |
|----|--|---|--|---------------|--------------------------------------|
| ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | 岡山全校舎で共有している。 | |
| ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | 毎年研修を実施 | |
| ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5 | | 毎年研修を実施している。 | 契約時に保護者へ説明をしている。また、現状身体拘束が必要な児童はいない。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

保護者等数（児童数）：14名 回収数：9名 割合：

80%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|----|-----------|-----|-------|------------|------------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 8 | 1 | | | 学習するにはいい広さ | 運動療育を行う際はスペースの確保に努めます |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | | | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 8 | | 1 | | | 玄関や階段がある為難しい所があるが必要な児童がいる場合は介助します。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 9 | | | | | 引き続き快適に過ごせるよう環境づくりに努めます。 |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 9 | | | | | 今後もアセスメントツールを使用しながら適切な計画の作成に努めます |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 8 | | | 1 | | ガイドラインについて保護者の方に向けて頂けるよう配置します。 |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 9 | | | | | 今後も先を見通した療育に努めます。 |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 9 | | | | | 各職員でアイデアを出しながらプログラム作成を行っていきます。 |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | | 6 | 1 | | 現状考えていません。 |
| 保護者への説明 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 9 | | | | | 不明な点はすぐ答えられるように職員へ周知致します。 |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 7 | | 1 | 1 | | ガイドラインを知って頂ける努力をします。 |

| | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|---|----------------------------------|--|
| 明 等 | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 5 | 2 | 2 | | ・よく話を聞いてくれて助かる。 ・研修の案内をしてくれる。 | 今後も必要な情報は平等に発信していきます。 |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 8 | 1 | | | | フィードバックでは足りない場合は別に時間を設けます。 |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 1 | | | | 定期的に行えるよう職員間で話し合いを行います。 |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | | 1 | 7 | 1 | | 親の会の案内を積極的に行っていきます。 |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 8 | | | 1 | | 毎朝ミーティングを行い前日の療育についての振り返りと保護者の方とのフィードバックについて情報共有を行っています。 |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 9 | | | | | フィードバックと毎朝のミーティングで実施しています。 |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 6 | | 1 | 2 | | HPを保護者の方に向けて頂けるよう努力していきます。 |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 8 | | | 1 | | 個人情報になるものは鍵付き書庫にて保管しています。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 6 | 2 | | 1 | | 玄関先に訓練内容の掲示を行っています。また、訓練には保護者の方にも |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 6 | 1 | | 2 | | 毎月実施し時折保護者と児童も参加して頂いています。 |
| 満 足 度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 9 | | | | | 今後も楽しく学べるよう療育の幅と知識を高めます。 |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 9 | | | | | より満足して頂けるよう努めます。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。